

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等に向けた 1. レガシー形成活動「Toward & Beyond 2020」について

I. 「Toward & Beyond 2020」とは

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等の成功に向けたムーブメントを活用し、
経済界が一体となって未来の子供たちのためにレガシーを残していく活動

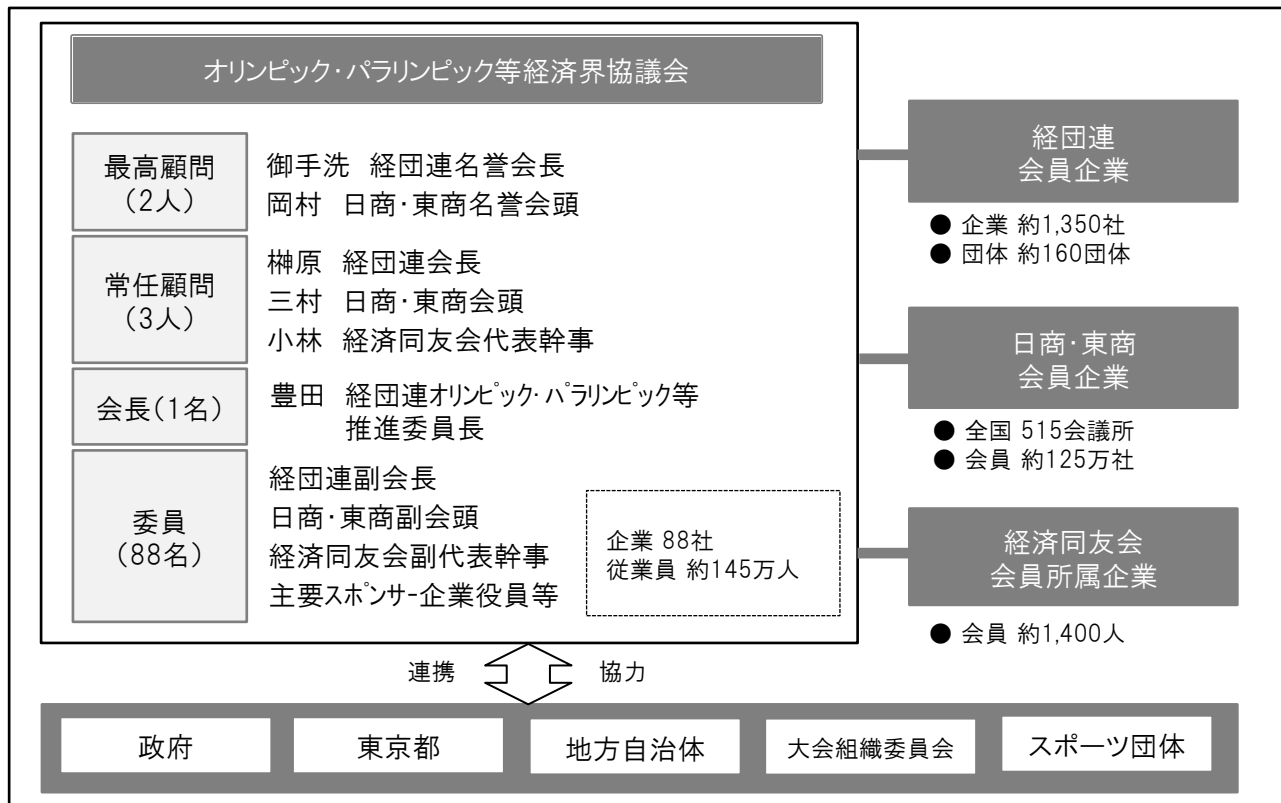
II. 活動方針

- 参画企業自らが汗をかいて実際に行動する
 - 業界、事業規模、地域を超えた企業間の連携と、政府・東京都・地方自治体・大会組織委員会等との密な連携により、大きなムーブメントを創出する
 - 活動の枠組みをレガシーとして残し持続可能なものとする
 - ・ 文化・ムーブメントを中心とした ソフトレガシー
 - ・ 科学技術・イノベーションに基づく ハードレガシー
- } 2本柱で活動

III. スローガン

「 ALL JAPAN 」
「 次世代の日本のために 」

IV. 体制



V. 活動の概略

2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021 ~	
▽協議会 設立	▽キックオフ (本日) 活動案の提案	Toward			▽ラグビー W杯	▽東京大会	Beyond
← 活動方向の検討 →		← 全体の盛り上げ 社会実装の展開 →			← レガシー化に向けた 課題の抽出 →	← レガシー化 →	

2. 文化・ムーブメント (ソフトレガシー)

I. 基本的な考え方

▽ 地方自治体、地方企業との新たな連携の枠組みを提案し、全国への波及を図る

▽ 加えて、それらを通じた地方経済界との更なる連携強化と参加企業の拡大を図る

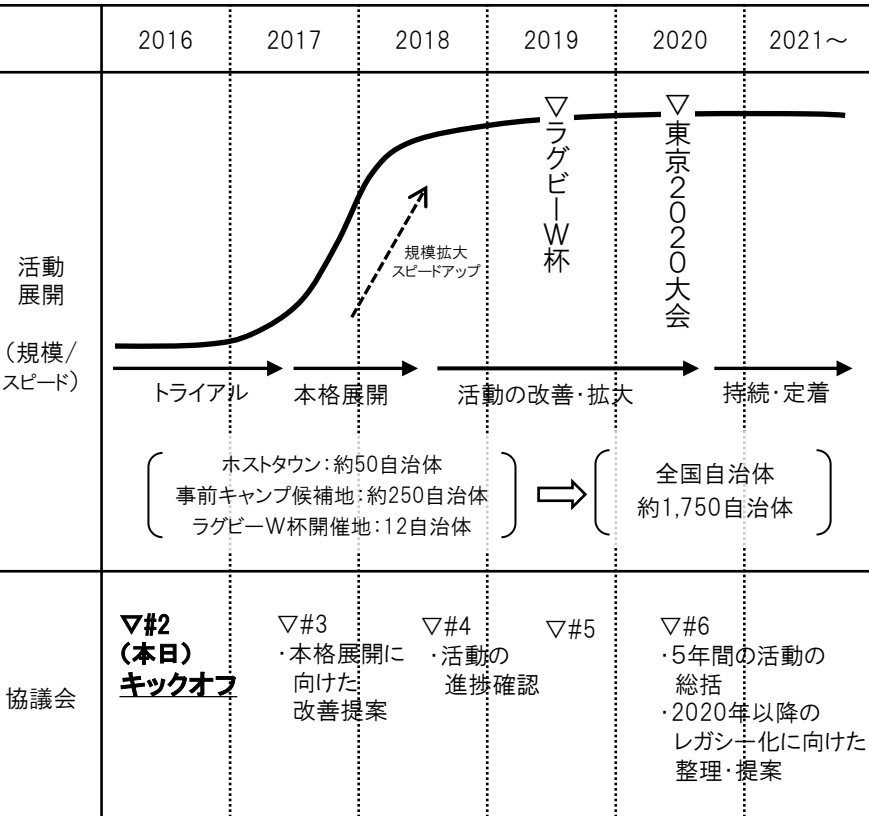
【活動ゴール】

「オリンピック・パラリンピックムーブメントの創出」
(特にパラリンピックに注力)
「復興五輪の後押し」

III. 課題

▽ 地方自治体、地方企業とのコミュニケーションチャネルの確立と、持続可能な仕組みの構築

IV. スケジュール



6つのテーマ、28本のプログラム

II. 主な活動事項

テーマ	実現したいこと	プログラム	幹事企業	現時点での参加企業
スポーツ・健康 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全ての人々がスポーツに親しむ機会を作り、健康で豊かな生活を送れる社会を実現する 	<ul style="list-style-type: none"> ① JFAこころのプロジェクト活動拡大の支援 ② 企業スポーツ施設の情報共有 ③ スポーツ・健康イベントへの企業アスリートや従業員の派遣・参加 ④ ジュニアアスリートのキャリア教育支援および海外遠征現地受入れ支援 ⑤ アスリート、コーチ等のキャリア支援 	アシックス	味の素、キヤノン、近畿日本ツーリスト、東京海上、東芝、トヨタ、凸版印刷、日本生命、日本郵政、日立、富士通、明治
障がい者スポーツサポート 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 障がい者と健常者がスポーツを通じて交わることで、真の共生社会の実現を後押しする 	<ul style="list-style-type: none"> ① 障がい者スポーツの体験会・交流会の実施 ② 障がい者スポーツを楽しむための情報発信 ③ 障がい者スポーツ大会応援 ④ 障がい者が利用できるスポーツ施設の情報共有 ⑤ 障がい者アスリート、コーチ等のキャリア支援 ⑥ ポイントプログラムの有効活用等による競技団体への寄付の仕組み作り ⑦ 競技団体への人材派遣 	NEC 東京ガス	あいおいニッセイ、アシックス味の素、サントリー、JTB、西濃シェンカー、ANA、TANAKA HD、東京海上、トヨタ、JAL、日本生命、NTT、野村HD、パナソニック、富士通、フューチャアキテクト、三井住友FG、三菱電機
誰もが暮らしやすい社会づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 誰もがストレスなく快適に過ごせる環境をつくり、多様な人々が活躍できる社会を実現する 	<ul style="list-style-type: none"> ① 異文化交流イベントの従業員派遣、国際交流派遣の現地受入れ ② 心のバリアフリー普及支援 ③ バリアフリーマップ作成支援 	富士通	アサヒビール、セコム、ANA、JTB、東芝、NEC、NTT、パナソニック、日立、三井物産、ヤマトHD
日本の良さを東京を舞台に魅せる 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本ならではの文化・風習、日本人の美徳を見つめ直し、日本の良さを東京を舞台に国内外へ発信する 	<ul style="list-style-type: none"> ① 日本の伝統的な文化・風習発信 ② 和食文化の継承、世界への発信 ③ 日本のアールブリュット支援 ④ 競技会場及び周辺の美化 	三井不動産	味の素、JXエネルギー、凸版印刷、日本郵政、パナソニック、日立、ブリヂストン、三井物産、LIXIL
地方の魅力を発信 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地方の魅力を発信し、人・物・文化の交流を促すことで、日本全国で賑わいを創出する 	<ul style="list-style-type: none"> ① 企業合同地方物産展 ② 企業の施設巡りツアー ③ 地域活性化施策の支援 	みずほFG ANA	あいおいニッセイ、アサヒビール、近畿日本ツーリスト、サントリー、JTB、凸版印刷、トヨタ、JR東日本、東京海上、JAL、三菱重工、ヤマトHD
東北発次世代育成サポート 	<ul style="list-style-type: none"> ■ これからの東北を担う次世代育成の好循環を生み出し「日本の未来をけん引する」東北を実現する 	<ul style="list-style-type: none"> ① 小中高生向け社会教育 ② 東北での就職支援・職業体験 ③ 東北地方の中小事業者や起業家へのノウハウ支援 ④ ビジネスコンテスト/ビジネスマッチング等への参加 ⑤ 東北の地産品販売&情報発信 ⑥ 交流人口拡大に向けたおもてなし人材育成 	野村HD 三井住友FG	トヨタ、JAL、NEC、野村総合研究所、JR東日本、三井住友海上

3. 科学技術・イノベーション（ハードレガシー）

I. 基本的な考え方

▽ 2020年をターゲットに、最先端技術の実装に向け、技術課題の明確化と産学官連携の枠組み作りを図る

▽ 各業界の動員数トップの展示会と連携することでムーブメント形成を図る（地方企業の出展もサポート）

【活動ゴール】

「技術立国日本の発信」

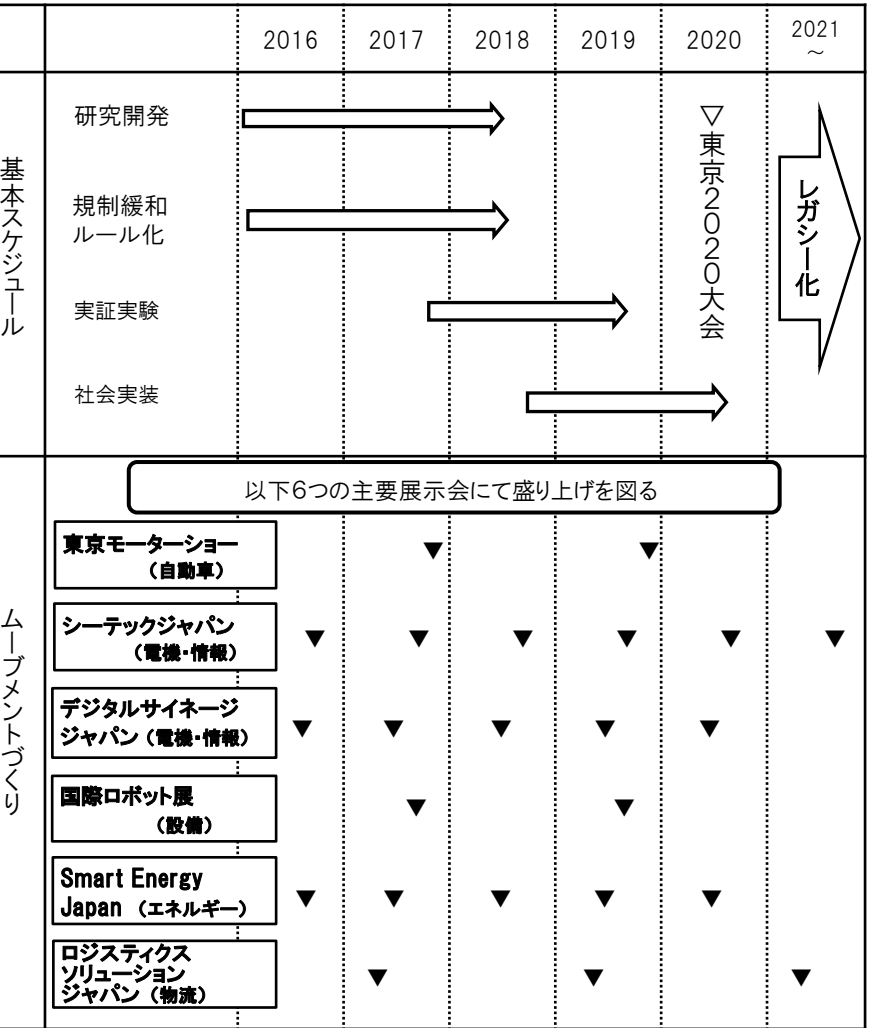
「課題先進国としての新しい価値観、社会像の実現」

III. 課題

▽ 2020年の実装展開に向けた、具体的なプロジェクトの明確化

▽ 必要な規制緩和及び標準化・統一化すべき事項の明確化

IV. スケジュール



II. 主な活動事項

5つのテーマ、24本のプロジェクト

テーマ	実現したいこと	プロジェクト	幹事企業	現時点での参加企業
安心・安全 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本に滞在する全ての人が安心・安全に過ごせる体制づくり ■ 自然災害/テロ・サイバー攻撃に対する予防技術、早期発見技術の確立 ■ 予測/早期発見に基づく警戒強化や避難誘導の実践 	<ol style="list-style-type: none"> ① 公共空間における犯罪/異変の早期発見 ② 多層的なセキュリティ対策(対テロ、感染症) ③ 重要インフラ事故発生に備えた総合セキュリティ対策の実践 ④ サイバー攻撃の被害極小化 ⑤ 豪雨等顕著災害の被害極小化 ⑥ 日頃の備えの充実 	NEC NTT パナソニック 富士通 トヨタ	IHI、キヤノン、セコム 総合警備保障 野村総合研究所 プリヂストン、三菱電機
環境 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 世界に先駆け、持続可能なCO2フリー水素の活用や循環型エネルギーシステムのモデル作りに取り組む ■ オリンピック・パラリンピック競技者、観戦者が真夏の日本でも快適に過ごせる環境の実現 	<ol style="list-style-type: none"> ① 選手村及び、競技場での水素タウンの実現 ② 空港等での燃料電池フォークリフトの活用 ③ 再生可能由来の水素による自立型エネルギーシステムの普及 ④ 東北で再生可能エネルギーを生産し都市部で消費するモデル作り ⑤ 水素関連で経産省目標を意識した実展開策 ⑥ 保水性ブロックやクールスポットの設置 ⑦ 複数施設間、都市間での電力融通 ⑧ 充電設備の拡張 		JXエネルギー 住友電気工業、東京ガス 東芝、東レ、日産自動車 プリヂストン 本田技研工業
ユニバーサル社会 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 誰もが不安なく、自由に動ける社会の実現を目指す ■ 年齢、体力、国籍、人種、身体差等でのバリアをなくす 	<ol style="list-style-type: none"> ① 宿泊施設や病院での多言語対応システム ② 目的に則したバリアフリー情報の提供 ③ ロボットの活用拡大 ④ 高速道路の専用レーンにおける、自動走行（運転手は必須、無人ではない） 		住友電気工業、セコム 東芝、トヨタ、日産自動車 プリヂストン、本田技研工業 三菱電機、LIXIL リクルートコミュニケーションズ
スポーツ・エンターテイメント 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 臨場感あふれる映像を通じて、スポーツの新しい楽しみ方を提案 	<ol style="list-style-type: none"> ① パブリックビューイングや街角での臨場感ある観戦及び、多言語表示 ② 競技内容の数値データでのフィードバックによる効果的なトレーニングの提案 		キヤノン 住友電気工業 東レ
元気な魅力ある地方 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 魅力ある地方の創生 ■ 一次産業の復興と若年層の居住定着 ■ 高齢者サポートの充実 ■ 訪日外国人への日本文化の発信 	<ol style="list-style-type: none"> ① 農業における重量物搬送 ② ICTを活用した農業 ③ 高齢者の移動手段向上 ④ 名所/旧所や城跡等の復元イメージを体感 		トヨタ パナソニック 富士通

自治体様に提供可能なプログラム(案)について

▽ホストタウン向けプログラム

1. 異文化交流イベントへの従業員派遣

▽ 主旨

- ・ 海外の言語・文化・歴史を学び、その国の人々と交流することで、異文化とのつながりを構築

▽ 内容

- ・ 海外駐在経験者を異文化交流イベントへ派遣し、外国の歴史や文化を講義

<イメージ>



2. 通訳ボランティア派遣

▽ 主旨

- ・ 日本へ訪れた外国人に通訳を用意することで、言語のバリアを解消し、日本滞在の満足度を向上

▽ 内容

- ・ 海外駐在経験のある従業員を通訳ボランティアとして派遣
(英語、中国語、フランス語、ドイツ語、スペイン語等)

<イメージ>



▽スポーツイベント向けプログラム

3. 企業所属選手によるスポーツ教室開催

▽ 主旨

- ・ 子供たちがスポーツに興味を持つきっかけづくりを行う

▽ 内容

- ・ アメフト等の体験教室を実施

<イメージ>



4. 子供向けスポーツ体験

▽ 主旨

- ・ 子供の成長を測定し、能力を確認

▽ 内容

- ・ 子供の体力や運動能力を測定

<イメージ>



5. 障がい者スポーツ体験

▽ 主旨

- ・ 障がい者スポーツを体験することで、障がい者スポーツへの興味喚起とバリアフリーへの関心を高める

▽ 内容

- ・ ブラインドサッカーや車イスバスケなどの障がい者スポーツを体験（コンテンツ内容は打ち合わせしながら決定）

<イメージ>



6. 食育・健康

▽ 主旨

- ・ 子供たちが食への感謝・食の大切さを学ぶことで「健康な食生活」への関心を高める

▽ 内容

- ① 食の大切さの講義
- ② バターづくりを体験

<イベントイメージ>



<バターづくり>



■オリンピック・パラリンピック等経済界協議会ホームページ

<http://www.kyougikai2020.jp/>

■お問い合わせ先

オリンピック・パラリンピック等経済界協議会 事務局

日本経済団体連合会 左三川

トヨタ自動車株式会社 上田

info@kyougikai2020.jp